

課題番号：汚染水-201

課題名 廃炉プロセス「汚染水対策」 検討対象「地下水・汚染水管理」 課題「地下・建屋水位コントロール」		時間軸情報	汚染水対策		1,2,3		
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
燃料デブリ取り出し							
PCV/RPV/建屋の解体							
輸送・保管・貯蔵							
段階 Design		処理・処分・環境回復					
ニーズ		望ましい状態とその理由 (参考) 関連する研究課題					
1	建屋止水を行いたい。	●現在、山側から海側に流れている地下水が、原子炉建屋等に流れ込み、建屋内等に溜まっている放射性物質を含む水と混ざることなどで汚染水が増加している。汚染水の増加を防止・抑制するためには、建屋の止水（地下水流入箇所への止水）がなされることが望ましい。 ●ただし、建屋周辺は高線量であり、かつ、地下水の流入箇所が特定されていないという課題が存在する。	【実施されている研究課題】 特になし				
			【検討されている研究課題】 特になし				
2	建屋間ギャップ止水を行いたい。	●原子炉建屋とタービン建屋の間でも汚染水の流入が生じていると考えられるため、建屋間のギャップ止水ができることが望ましい。 ●ただし、建屋内は高線量であり、かつ、地下水の流入箇所が特定されていないという課題が存在する。	【実施されている研究課題】 特になし				
			【検討されている研究課題】 特になし				
3	汚染水の増加量を抑制したい。	●現在の廃止措置において、コストの多くは汚染水処理が占めている。このコスト低減のため、汚染水の増加量は極力小さくできることが望ましい。 ●例えば、凍土壁の経変化管理・保全マネージメントの検討や、凍土壁に代わる代替策の検討等も必要である。	【実施されている研究課題】 特になし				
			【検討されている研究課題】 特になし				
関連する課題		汚染水-102「地下水・建屋の現状把握」 汚染水-301「効率的・効果的な水処理」					